

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025 年 1 月期調査結果（2025 年 3 月発表分）

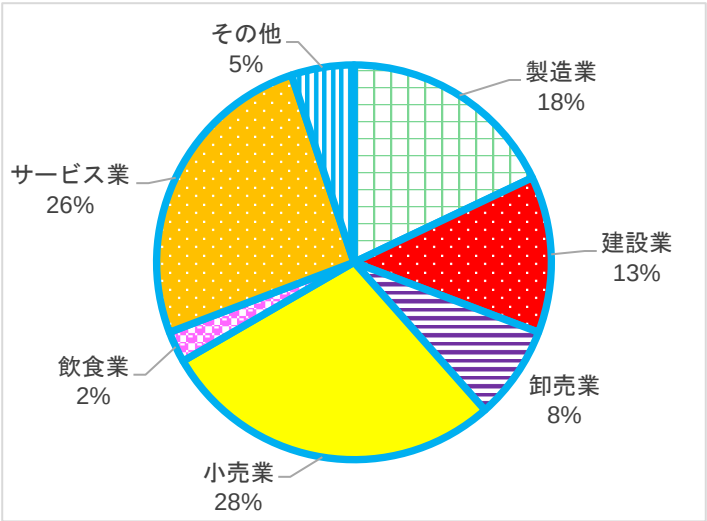
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、WEB アンケート調査を行いました。

回答者数は 39 名（回答率は 56.5%）

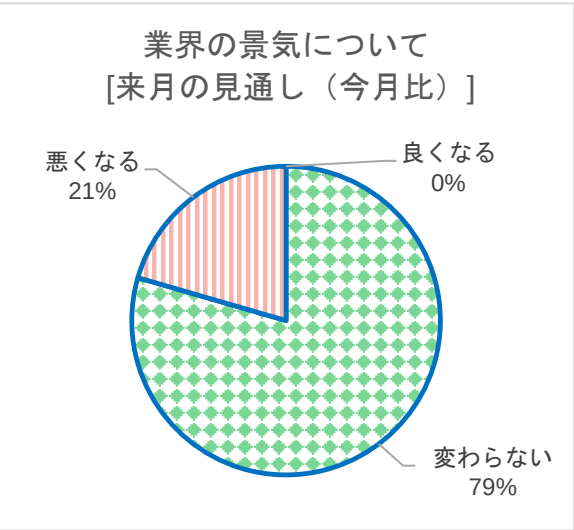
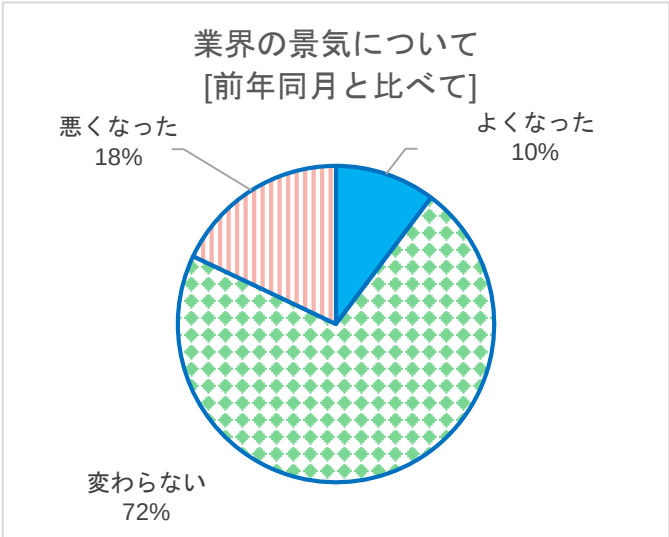
業種	回答者数	構成比
製造業	7	17.9%
建設業	5	12.8%
卸売業	3	7.7%
小売業	11	28.2%
飲食業	1	2.6%
サービス業	10	25.6%
その他	2	5.1%
計	39	100%



調査結果のポイント

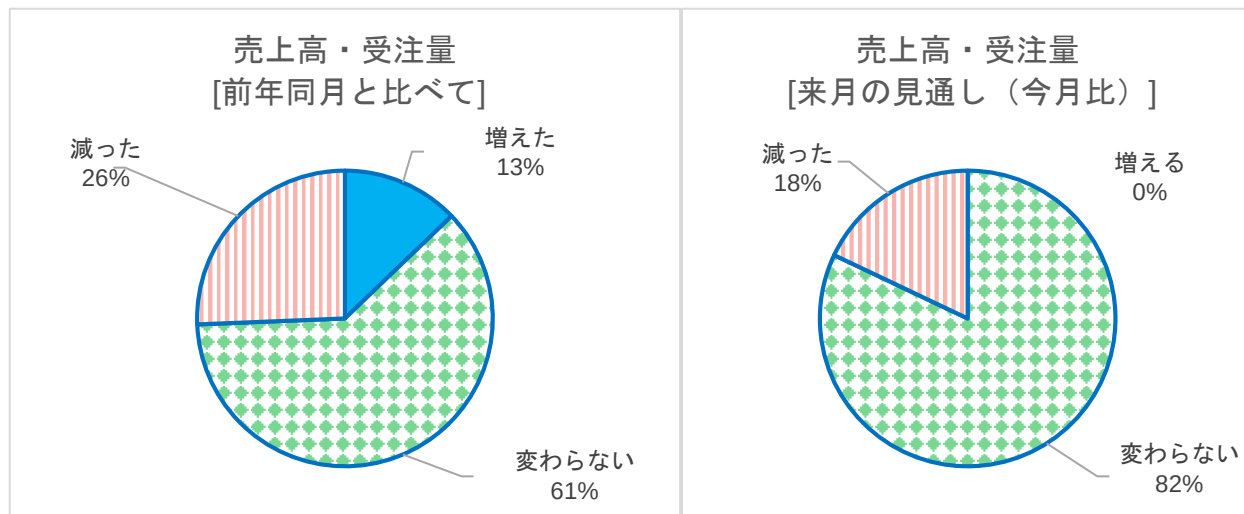
< 景況 >

- ・ 2025 年 1 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 10.3%、「変わらない」が 71.8%、「悪くなった」が 17.9%となりました。
- ・ 2025 年 2 月以降の見通しについて、1 月と比較して、「よくなる」が 0.0%、「変わらない」が 79.5%、「悪くなる」が 20.5%となりました。



<売上高・受注>

- ・2025 年 1 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 12.8%、「変わらない」が 61.5%、「減った」が 25.6%となりました。
- ・2025 年 2 月以降の見通しについて、1 月と比較して、「増える」が 0.0%、「変わらない」が 82.1%、「減る」が 17.9%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

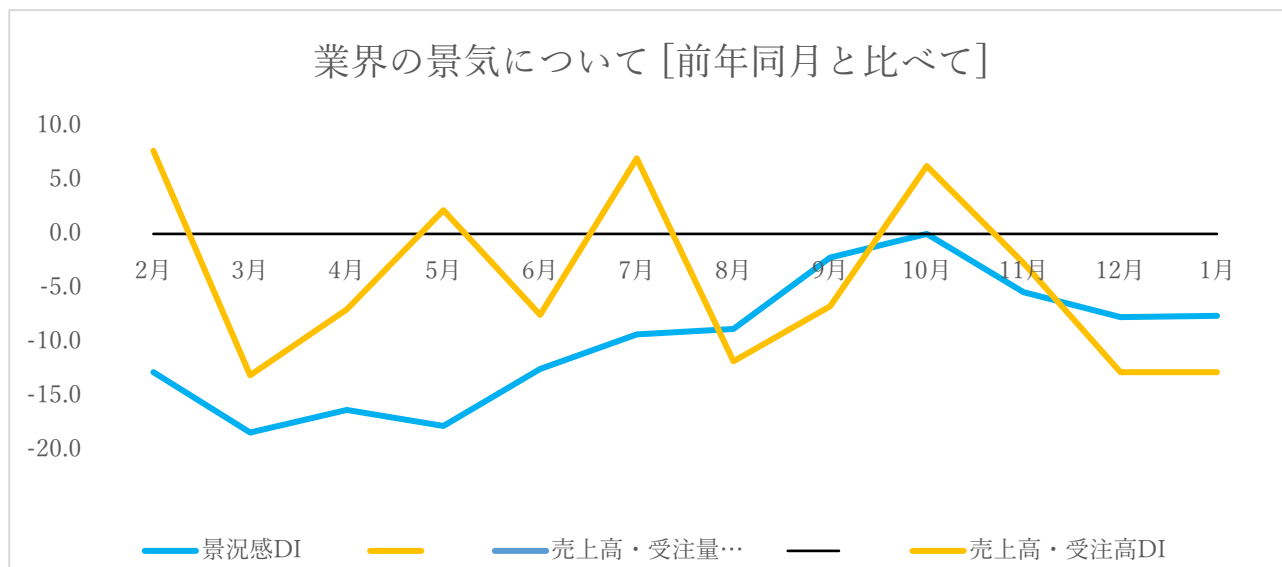
<概要>

景気ウォッチャー調査員 69 名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024 年 2 月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



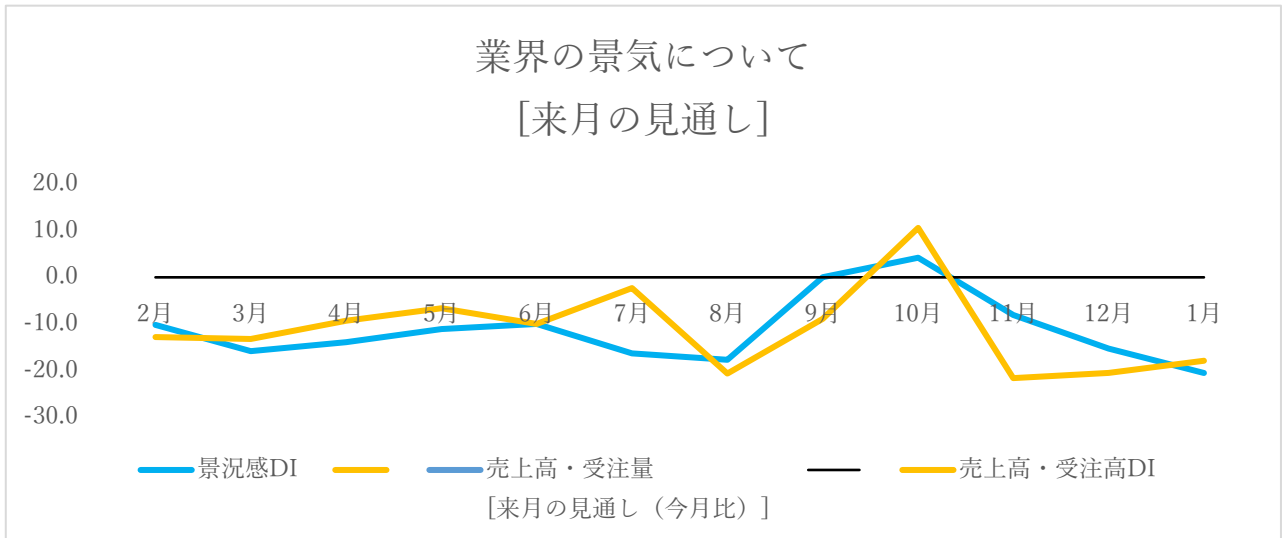
業界の景気について [前年同月と比べて]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6

売上高・受注量 [前年同月と比べて]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高・受注高DI	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8

2024 年 2 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高・受注高DI	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
自動車(小・修)	自動車は国内個人向けの販売台数が減っている気がする。代替え需要のない分が整備売上に回っている感じがする。
鑄材(卸)	製造機械の受注減に寄る鑄造業界業界の低迷。
税理士	同業者の外国人採用による原価圧縮で価格競争に勝てない。
祭用品(小)	業界全体、特に縫製する人不足である。
税理士	人手を雇用したいが6か月先・1年先の見通しがつかない。
楽器(製)	インバウンドでの需要が少しずつ増えてきている。他地域でのインバウンド需要が発生してきているのは大きい。
茶(加・小)	ペットボトル用のお茶の原料や、量販店で販売用のお値打ちな緑茶の原料が品薄。静岡では小規模・中規模の農家や製茶業が、割に合わない手を引いた事も大きな要因の1つ。逆に更なる大規模化にすれば儲かるのではと考える、九州の製茶業は活力がみなぎっている話も聞く。
木製家具(製)	浜松市内での仕事が薄く、無理して遠い(東京、大阪)などの仕事をうけている為経費がかさんでいる。
電気機械器具(小)	パナソニックの事業再編について、業界で関心が高まっている。
事業協同組合(石油)	1月のガソリン販売価格は、政府の補助金支給の縮小により12月上旬に比べ約10円上がった。この影響を受け、販売数量は前年に比べ減少した。
事業協同組合(機械)	大企業の賃上げに対して中小企業はそもそも財源がない。
事業協同組合(鉄)	ホンダと日産の統合による部品メーカーの再編、EVの動向等、不安材料は多い。
事業協同組合(ものづくり)	労務費の増加による経費負担が大きくなっている。

資材（卸）	業界的には物販に先が見えない為、別業態への進出が必要不可欠だと感じる。
建築設計業	昨年の能登半島地震以来、木造住宅の耐震補強に関する相談や依頼が多い。静岡県 の事業としては令和 7 年度が補助金交付の最終年度となっているので、年度初め の 4 月に向けた申請希望者が多くなっている。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務 の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
茶(加・小)	①仕入れと経費が上がり、売価を上げ、税金も上がる。毎月のように繰り返さ れるこの仕組みに、ついにお客様が慣れはじめて値上げについて言及しなくな った。
資材（卸）	①物価高騰により、小規模事業者はこの先かなり厳しい時代がくるだろう。
事業協同組合(鉄)	①自動車関連は一部回復基調にあるが全体的にはまだまだである。昨年度から 物価高騰と円安の影響は利益を圧迫している。米国のトランプ政権による関税 の引き上げ、その他の政策が各国に及ぼす影響、ひいては中小企業へも波及し てくることも心配である。
税理士	②人手不足が常態化し、求人は中小企業では人材紹介業者を利用しても難しい 状況。求人コストは高騰しているが、事業継続を考えると支出はやむを得ない。 今まで以上に社員を定着させる対策も必要になってくる。
木製家具(製)	②いろいろなところで、賃上げの話がでるが、受注、賃金とも、あがってこな いし、あげられない。ベニヤも、ここ一年あがらなかったが、6 月に値上げの 話がきた。また負担がふえることになりそうだ。
祭用品(小)	②人手不足で商品が作れなくなっている。
事業協同組合(機械)	②人手不足、物価高、トランプ関税の先行き不透明。
社会保険労務士	③今年 10 月で Windows 10 のサポートが終了するという。それまでにパソコ ンの入替を検討しなくてはならないだろう。
事業協同組合(もの づくり)	④米国の関税対応の動向により、今後の受注に影響が出てくるのか気になる
木製品(製)	④アメリカに輸出の際の関税がどうなるか不透明である。
サッシ・ドア(製)	⑤相変わらず、仕事量が少ない
社会保険労務士	⑤労働者の多様性を意識的に取り入れるための対策を立てているが、社風、部 門及び業界によってなかなか定着するには至っていない。
税理士	⑤インボイスで消費税の課税事業者になったがやめたいという人が増えた。

以 上